

2026 年 8 月 19 日

各 位

会社名 ベステラ株式会社
代表者名 代表取締役社長 本田 豊
(コード番号: 1433 東証プライム)
問合せ先 執行役員管理部長 池田 真也
(TEL. 03-3630-5555)

「再エネ設備材の資源循環アップサイクル事業」実装の報告

このたび、ベステラ株式会社（代表取締役社長 本田豊）は、宏幸株式会社（代表取締役 八木和芳）が環境省より取得した「プラスチック再資源化2号認定*1」を活用し、日本通運株式会社（代表取締役社長 竹添進二郎）とともに、くろしお風力発電株式会社が所有する銚子高田町風力発電所（千葉県銚子市）の FRP*2 ブレード*3 マテリアルリサイクルによる再エネ設備材の資源循環アップサイクル事業スキームを社会実装したことを報告します。

【リリース主旨】

宏幸（株）は、風力発電設備の解体に伴う FRP ブレードの埋立廃棄を解決する世界初の「風車 FRP ブレード高度リサイクル技術」を、環境省「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金脱炭素型循環経済システム構築促進事業（うちプラスチック等資源循環システム構築実証事業）」を通じて 2024 年に開発しました。

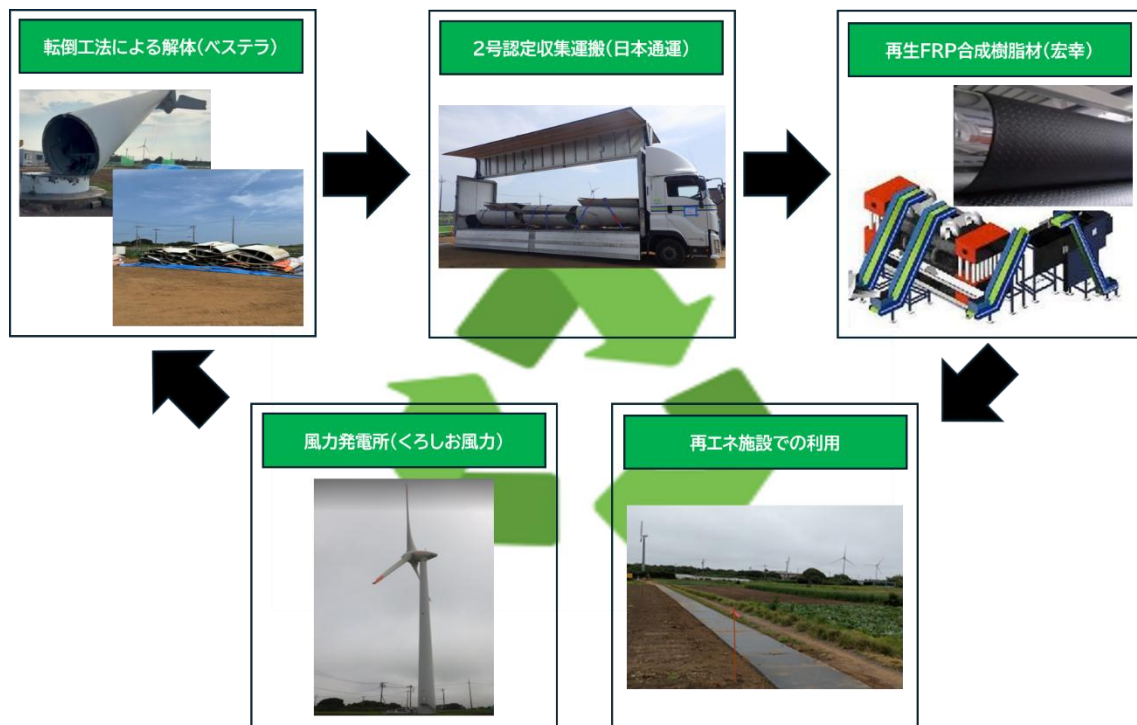
今般、プラント解体事業会社のベステラ（株）が、CO₂ 排出抑制を目的に開発したクレーンを使用しない「転倒工法」によって解体施工した、くろしお風力発電（株）が所有する銚子高田町風力発電所の FRP ブレードを、日本通運（株）がプラスチック使用製品産業廃棄物等収集運搬車にてヒロコウエコテクノロジーセンター（神奈川県山北町）へ運搬、宏幸（株）が同センターにて製造する再生 FRP 合成樹脂材の原料となりました。

宏幸（株）が製造した再生 FRP 合成樹脂材（既製品）は、千葉県銚子市の同風力発電所解体现場進入路で活用され、今般の協業体制によって「プラスチック再資源化2号認定」による再エネ内資源循環アップサイクル事業スキームが社会実装されたこととなります。

なお、本スキームによる CO₂ 削減効果は、転倒工法による風力発電設備解体によりクレーン解体比で約 40% の削減、風車 FRP ブレード高度リサイクル技術によるマテリアルリサイクルにより埋立・焼却処分比で約 36% の削減となります。

これまで、処理困難物である FRP ブレードの処理方法は、コスト面から埋立廃棄が一般的でした。近年は中間処理業者を介してセメント原料とするリサイクルが拡大していますが、ベステラ（株）は今後もマテリアルリサイクルを含む様々な処理方法も広く検討し、解体設備の資源循環に取り組んでまいります。

[FRP ブレードの再エネ内資源循環アップサイクル事業]



【用語解説】

- *1 プラスチック再資源化2号認定：2022年施行の「プラスチック資源循環促進法」で新設された、再資源化事業者のプラスチック再資源化計画を環境省が認定するもので、全国に排出物収集運搬を可能とする制度。
- *2 FRP：繊維強化プラスチック (Fiber Reinforced Plastics) の略称。軽くて強いことから、バスタブ・風車ブレード・船舶等に使用されている。G-FRP (ガラス繊維強化プラスチック) と C-FRP (炭素繊維強化プラスチック) があり、従来の風車ブレードは G-FRP が主であったが、最近の大型風車は洋上発電用途を含め C-FRP が多い。
- *3 ブレード：風力発電機の「羽」を指し、風力発電1基あたり通常サイズで 5t/枚の FRP 製ブレードが3枚=15t/基が排出される。

【照会先】

会社名：ベストテラ株式会社

代表者：本田 豊

所在地：東京都江東区平野 3-2-6 木場パークビル

TEL : 03-3630-5555 (代表)

※本件に関する担当者：木戸健太郎 (k.kido@besterra.co.jp)

瀬古伸顕 (n.seko@besterra.co.jp)

以上